

ビジョン2025 アクションプラン

さらなる新しいキャンプの創造に挑戦

尼崎市立美方高原自然の家の
課題と新たな試み

指定管理団体：公益法人日本アウトワード・バウンド協会

発表者：尼崎市立美方高原自然の家 西垣幸造

尼崎市立美方高原自然の家とは

指定管理団体：公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会

- ・ 目的：青少年の健全育成と市民の自然と親しむ余暇活用の促進
- ・ 尼崎市立全41小学校の自然学校推進事業（4泊5日）や家族、青少年団体等を受け入れ。
- ・ 主要事業の1つに「野外活動等における調査研究と情報提供」
- ・ 市の施策とのパートナーシップによる指定管理運営

尼崎市教育振興基本計画2020-2024

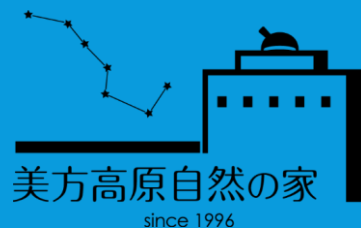
教育の基本方針のなかで、

「教育は未来への先行投資である」

という認識を共有



OUTWARD BOUND
JAPAN





**OUTWARD BOUND
JAPAN**

現状と課題

現状

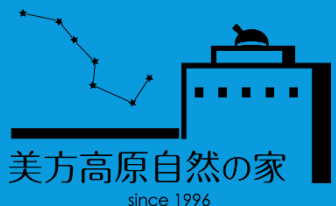
- ・ コロナ禍の自然の家運営（利用激減による特別な措置、指定管理費の効果的運用など）
- ・ 尼崎市立小学校 33校から全 41校の自然学校受入れ拡大(2022年4月)
- ・ 所管課が、教育委員会へ移管(2023年4月)
- ・ GIGAスクール構想が急速に普及し、学校教育の環境が大きく変化していく。

課題

- ・ より教育的効果の高い自然学校事業の支援の責務と市教委との連携
- ・ 未来志向の教育へ連携したこれからの自然の家の在り方の試行
（DX推進、GIGAスクールへの連動）を先行して模索し試行する。



OUTWARD BOUND
JAPAN



課題解決のきっかけ

関西学院大学 甲斐教授とのご縁から始まる

現状と課題の相談

共同研究という連携手法

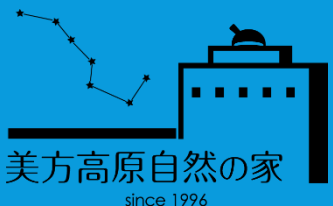
研究成果の共有と必要最低限の経費

将来を見据えた野外活動開発の意欲と行動

タブレット購入や研究費の捻出



OUTWARD BOUND
JAPAN



美方高原自然の家
since 1996

課題解決にむけたチャレンジとその成果

学校利用における支援の質の担保と継続的な改善の仕組みの構築

ISO9001 自然学校支援（国内初）の運用 2021年3月～現在

GIGAスクール構想など教育環境の変化を鑑みた先行開発

IT機器を活用した野外活動の開発とその影響調査 2021年4月～現在

ARネイチャーラリー、ARアドベンチャーラリー、カレーライスづくりアプリ
カートンドックづくりアプリ、HMDを活用した遠隔体験の創出など

野外活動等と教科を融合した活動の開発 2022年5月～現在

ARネイチャーラリー社会科、英語バージョンの開発

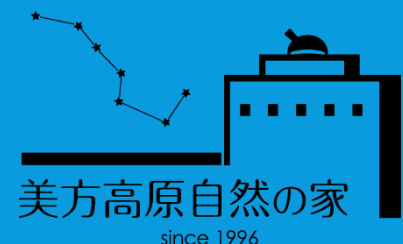
IKR調査の実施（尼崎市立全41小学校 小学5年生3469人）2022年度～現在

Googleフォームを活用しアンケート調査

独立行政法人国立青少年教育振興機構の『「生きる力」の測定・分析ツール』を用いて分析

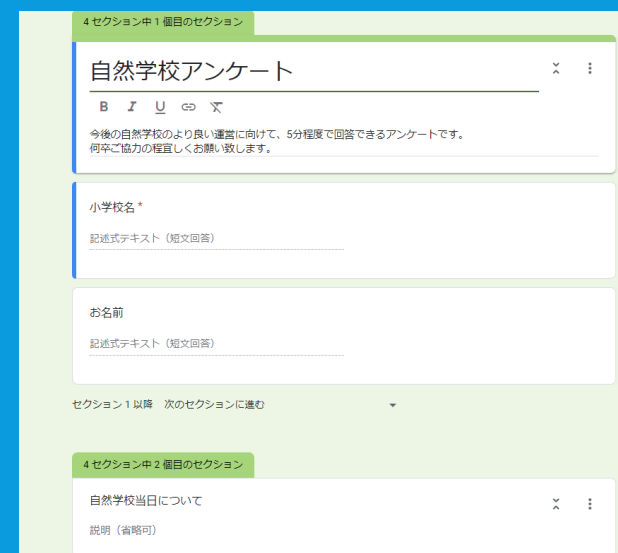
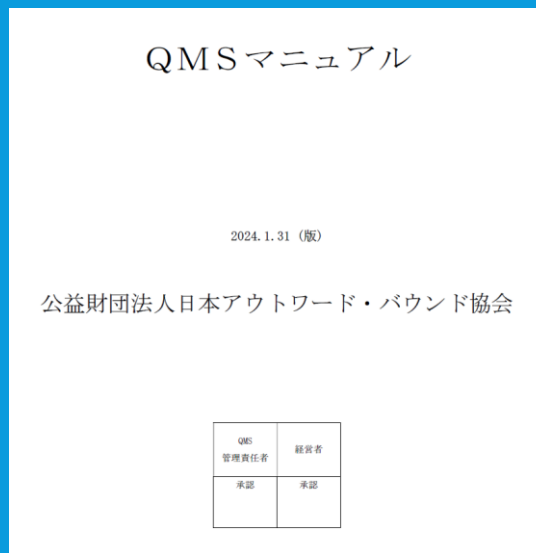


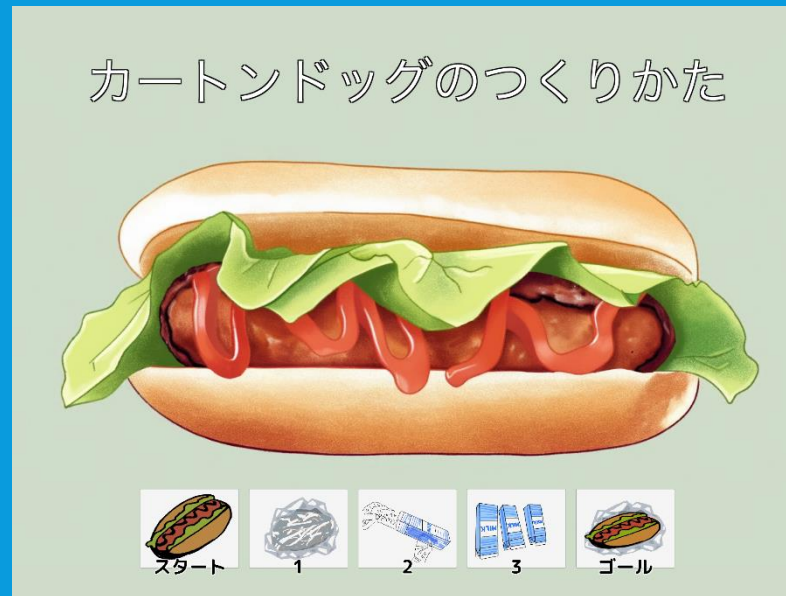
OUTWARD BOUND
JAPAN



美方高原自然の家

since 1996





自然学校に参加する前の調査

* 必須の質問です

以下の文章にどのくらいあてはまるか、こたえてください。

◇下の質問(しつもん)をよく読み、自分にあてはまるかどうか、「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの6段階(だんかいは)で答えてください。
◇考えすぎると答えられなくなることがあります。あまり考えすぎずにドンドン答えてください。

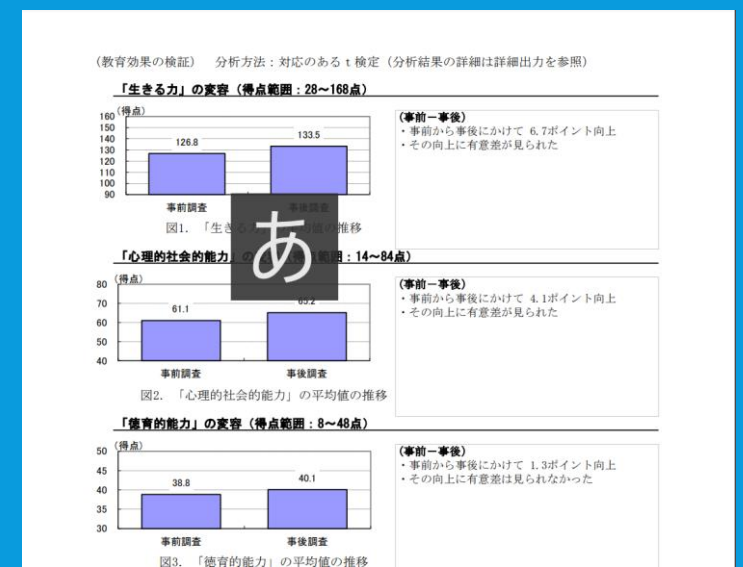
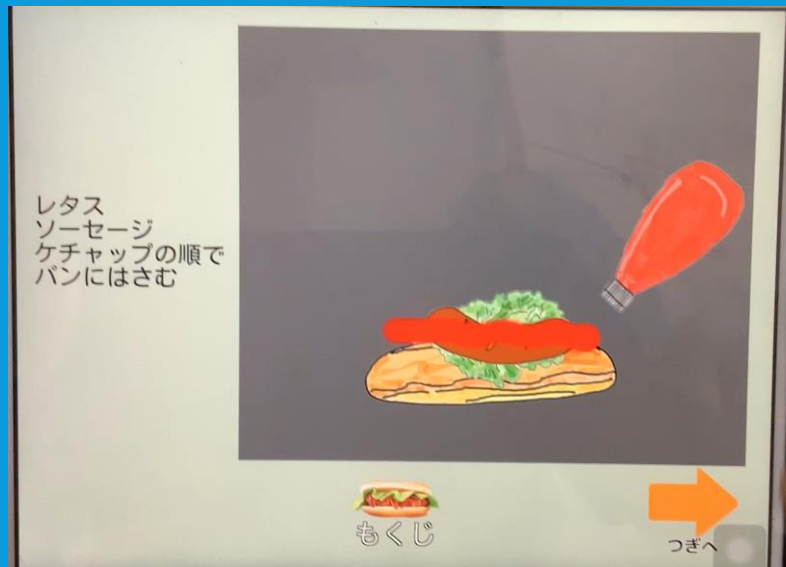
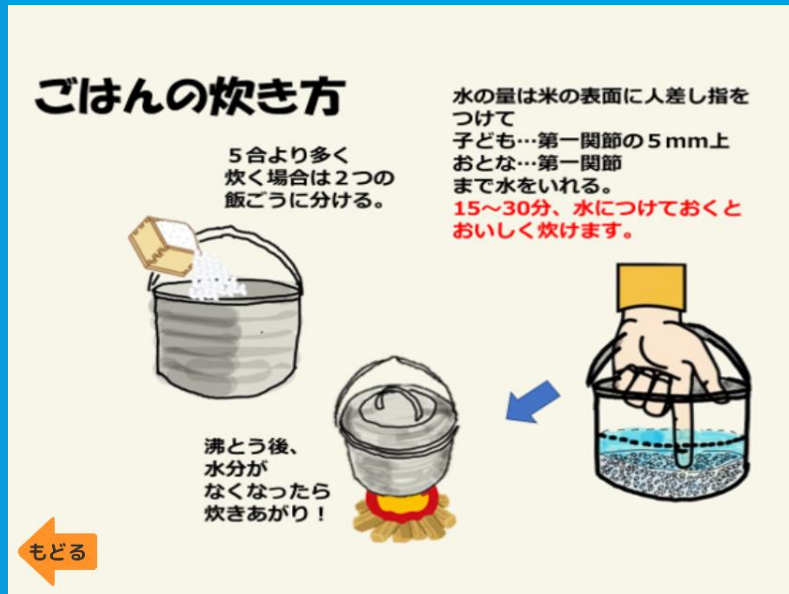
「まったくあてはまらない」を1、「あてはまる」を6と考えて、どのくらいあてはまるか、1から6まで答えてください。

いやなことは、いやとはつきり言える*

	1	2	3	4	5	6
まったくあてはまらない	☐	☐	☐	☐	☐	☐
とてもよくあてはまる						

人のために何かをしてあげるのが好きだ*

	1	2	3	4	5	6
まったくあてはまらない	☐	☐	☐	☐	☐	☐
とてもよくあてはまる						



今後にむけて

DXが急速に進む社会を鑑みて、今後に必要な力とは？

アートをつうじた豊かな創造力や表現力の育成（2022—2024年度）

とちのき村アートプロジェクト 兵庫県立大学 助教 佐々木樹氏との連携

ART & CREATIVE CAMP 2024 夏 関西学院大学等の連携



とちのき
アート
プロジェクト



そのためには

- ・必要な予算の捻出（指定管理料、自主事業）
- ・先を見据える開発マインドと行動力

特に大切なのは？

つながること(連携)の大切さ

つながる。連携をする。

自分達（施設）だけでは成しえないことにつながる。

関西学院大学、情報科学芸術大学院大学、東京コンピューターサービスなどとの共同研究

A Rネイチャーラリーなど i P a dを使った野外活動の開発と調査

日本キャンプ協会、日本野外教育学会での実践事例や調査研究成果の発表

つながりを深める。連携を高める。

既存の事業から次の自分たちだけでは成しえない事業が生まれる

とちのきアートプロジェクト（とちのき村芸術祭2024年9月予定）

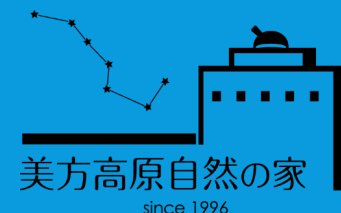
つながり、理解が広まると、次への展開が広がる

茨城県大賀小学校における地域防災教育への協力、民間の自然学校受入れ施設での活用や新たな開発への協力

大学4年生の卒業研究連携による研究成果の共有（関西学院大学、大阪体育大学、関西国際大学など）



OUTWARD BOUND
JAPAN



ご清聴いただき、
ありがとうございました。



OUTWARD BOUND
JAPAN

